

平成 17 年 2 月 16 日

各 位

東京都千代田区麹町一丁目 4 番地  
松井証券株式会社  
代表取締役社長 松井 道夫  
(東京証券取引所第一部: 8628)  
問合せ先: 取締役社長室長 雨宮 正人  
TEL: 03(5216)0818

### 先物取引、オプション取引売建の開始について

松井証券は、日経平均株価指数先物取引(先物取引)と日経平均株価指数オプション取引(オプション取引)の売建を、3月を目処に開始いたします。

これまで松井証券では、ハイリスク・ハイリターン型の取引である先物・オプション取引については、顧客の投資リスク等を考慮し、オプション取引の買建のみの取扱いにとどめてきました。しかしながら、大阪証券取引所によると2004年の先物取引における個人投資家の売買代金は5兆円と、2003年の売買代金である2兆円の2.5倍に急増し、個人投資家が自らのリスクを鑑みた上で積極的に投資を行うという動きが鮮明になっています。そのため、松井証券は先物取引、オプション取引の売建をこのたび開始することにいたしました。

松井証券は先物取引を開始するにあたり、「1枚あたりいくら」が通例となっている先物取引の手数料に、1日定額制である「ボックスレート」(\*)を導入いたします。株式、先物、オプション全ての取引を1つのボックスに入れ、さらに日計り取引の片道手数料を無料とすることで、ボックスレートは前例の無い新しい手数料体系に生まれ変わります。これにより、株式、先物、オプションと取引種類毎に別々に手数料がかかる手数料体系に比べ、当社の顧客は、取引種類にとらわれない自由な取引ができるようになり、ボックスレートの真の有利性を実感できると考えています。

(\*)ボックスレート…取引回数にかかわらず1日の約定代金の合計額によって手数料が決定される  
松井証券の手数料体系。なお、先物取引の場合、約定代金の10分の1がボックスに組み込まれる。

また、先物取引、オプション取引の売建を行う場合、証拠金を差入れる必要がありますが、松井証券では、証拠金を現金だけでなく、株券による代用を可能とします。さらに、顧客は自分の持っている株券を信用取引の担保とするか、先物取引、オプション取引の担保とするかを選べるようになる他、携帯電話からも取引を行えますので、より柔軟で多様な投資ができるようになります。

松井証券は、今後も個人投資家の視点に立ったサービスの拡充に努めてまいります。

以上